



® 平成 30 年 7 月 23 日 (月)

No. 14735 1部370円(税込み)

発行所

一般財団法人 経済産業調査会

東京都中央区銀座2-8-9 (木挽館銀座ビル)

郵便番号 104-0061

[電話] 03-3535-3052

[FAX] 03-3567-4671

近畿本部 〒540-0012 大阪市中央区谷町1-7-4

(MF天満橋ビル8階) [電話] 06-6941-8971

経済産業調査会ポータルサイト <http://www.chosakai.or.jp/>

特許ニュースは

- 知的財産中心の法律、判決、行政および技術開発、技術予測等の専門情報紙です。

定期購読料 1カ年61,560円 6カ月32,400円
(税込み・配送料実費)

本紙内容の全部又は一部の無断複写・複製・転載及び
入力を禁じます(著作権法上の例外を除きます)。

目次

☆地域における観光と知的財産の関連性 (35) … (1)

☆知的財産関連ニュース報道 (韓国版) …… (10)

地域における観光と知的財産の関連性 (35)

東京理科大学 経営学研究科

教授 生越 由美

第5章 地域における事例

32. フランス国ボルドー市 (地理的表示保護制度) ¹

今回は、フランス国ボルドー市 (Bordeaux) を取り上げる。この地域は、「地理的表示保護制度」の発祥の地である。

近年では、2007年7月9日にボルドー市の一部がユネスコ (UNESCO) により「世界遺産」として登録された。ニュージーランドのクライス

トチャーチでおこなわれた選定会議で、1810ヘクタールのエリア内の350を超える建造物が価値のあるものとして認定された。これらは、18~19世紀の都市計画によって生まれた調和のある街並みと、近年のガロンヌ河岸の歩行者空間と一体となった歴史的な再開発がポイントであった。

これはボルドー市内の建築物と文化的価値を認めたもので、今回の認定はボルドー市の半分以上



鈴榮特許総合事務所
SUZUYE & SUZUYE

〒105-0014 東京都港区芝3丁目23番1号 セレスティン芝三井ビルディング11階
電話 東京03(6722)0800(大代表) URL <http://www.s-sogo.jp/>

所長 ○弁理士 蔵田 昌俊(電気・通信)
副所長 ※弁理士 野河 信久(電子・通信)
理事 弁理士 鶴岡 健(生命工学)
理事 弁理士 矢頭 良之(電子・通信)
常務顧問 弁理士 井関 守三(電子・通信)
△※弁理士 岡田 貴志(電子・ニューヨーク州弁理士)
弁理士 永島 建治(機械)
弁理士 片岡 耕作(機械・制御)
※弁理士 宮田 良子(電気・電子)
※弁理士 朝倉 傑(電子・通信)
※弁理士 馬淵 繁(電気・通信・情報処理)
弁理士 佐藤明日香(電気・通信)
弁理士 柴田紗知子(物理)

所長代行 ※弁理士 小出 俊貴(商標意匠・不正競争)
副所長 弁理士 井上 正(電子・情報・通信)
理事 弁理士 飯野 茂(物理・計測・分析)
常務顧問 ※弁理士 峰 隆司(電気・電子・通信)
※弁理士 金子 早苗(化学)
※弁理士 幡 茂良(商標意匠・不正競争)
※弁理士 矢野ひろみ(海外商標)
弁理士 飯田 浩司(機械・電気・バイオ・医療機器)
弁理士 堂前 俊介(電気・電子)
弁理士 鷹巣 明彦(情報・通信・医療機器)
弁理士 辻本 典子(バイオ)
弁理士 井上 高広(電子・半導体)
弁理士 土田 新(機械・バイオ)

所長代行 弁理士 福原 淑弘(電気・電子・通信)
□ 弁護士 金子 博人(知的財産法務)
弁理士 森川 元嗣(機械)
弁理士 河野 直樹(化学)
※弁理士 佐藤 立志(電子・通信・ソフトウェア)
弁理士 堀内美保子(化学・バイオ)
弁理士 中島 千尋(機械・制御)
※弁理士 清水千恵子(海外商標)
※弁理士 石川 真一(機械・バイオ・医療機器)
弁理士 中丸 慶洋(電子・情報処理)
※弁理士 角田さやか(機械)
※弁理士 橋本 良樹(商標意匠・不正競争)
弁理士 石井満和子(商標意匠・不正競争)

○ 米国パテントエージェンツ (合格) ※ 付記弁理士 (特定侵害訴訟代理) △ ニューヨーク州弁理士 □ 顧問弁理士

【顧問法律事務所】 弁理士法人 内田・鮫島法律事務所

〒105-0001 東京都港区虎ノ門2丁目10番1号 虎ノ門ツインビルディング東棟16階 電話 (03)5561-8550(代表) FAX (03)5561-8558 URL <http://www.uslf.jp/>

を占めるため、都市の世界遺産面積としては最大級となった。同時に、郊外の「シャトーオーブリオン」がある「ペサック地区」も保護されることになった。

なお、ボルドーの北50キロに位置する「サンテミリオン」は、1999年に世界遺産に認定されている。

ワイン生産地の世界遺産登録は、ポルトガルの「ポートワイン」の産出拠点である「ポルト (Porto)」など数えるほどしかない。

(1) 地理²

ボルドー市は、フランス南西部の中心的な都市で、ヌーヴェル＝アキテーヌ地域圏の首府、「ジロンド県」の県庁所在地である。ジロンド県は、フランス南西部に位置するフランス本土で最大の県である（海外県を含めると「ギuyアンヌ・フランセーズ」が最大）。

県名は、「ガロンヌ川」と「ドルドーニュ川」が合流してできた「ジロンド川」にちなんで名付けられた。以前は、アキテーヌ公国の首府だった。

ボルドー市はフランス南西部の大西洋の近くに位置する。直線距離でパリから498km、ポーから172km、トゥールーズから220km、ビアリッツから170km、サン・セバスティアン（スペイン）から201km、アルカションから51kmという交通の要所に位置する。

街をガロンヌ川が横切り、外洋船舶が接岸可能な港があるが、多くはジロンド川下流の港、主に「ル・ヴェルドン＝シュル＝メール」を利用する。ボルドーにはガロンヌ川最下流の橋である「アキテーヌ橋」がある。

都市圏は急速に発展し、特に西方で強度のスプロール現象をもたらした。この現象は、特に、ボルドー都市圏の住居が3階建てを越えることがほとんどなく、その上、4階建ては市街地中心部に隣接した城郭外に存在している。

中心市街地においては、1960～1970年代に行われたメリアデック地区の改造作戦が、人と自動車の通行を切り離すことを狙って行われ、道路の上に歩行者用の歩道が建設された。

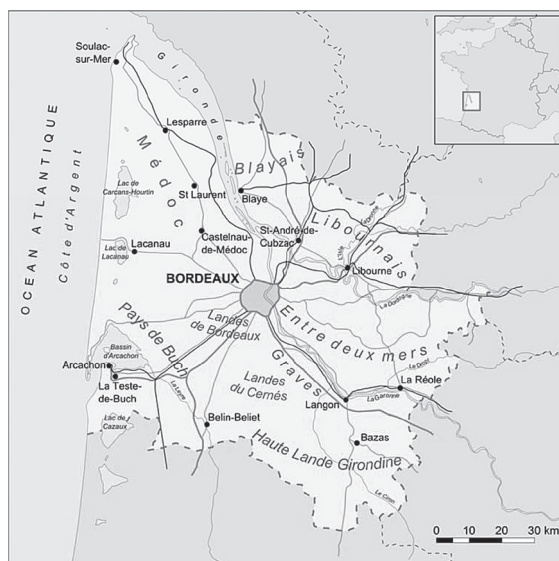
2000年代初頭から、中心市街地再開発として路面電車を復活して大きく変化した。

ボルドー市街地の大部分が位置するガロンヌ川左岸は、ボルドー湖周辺のように多くの場合湿地である「大平原」を構成する。いくつかの丘があるにも関わらず、左岸の平均標高はとても低い。この草原は主に「砂利」が堆積したものである。土壌はやせ、水を透過し、熱を容易に貯蔵する。

ガロンヌ川右岸は「石灰岩」の台地であり、全く違う地層である。このため、この地域でも小麦などが育たず、紀元前からブドウなどを育てていた。標高は崖で90m近く上昇する。この台地上には、世界で最も高いワインを産するサン＝テミリオン、ポムロール、フロンサックといった世界的ブドウ園が、ボルドーから約20kmにわたって存在する。

平均気温は1月の6.4℃から8月の20.9℃で、年間平均気温は13.3℃である。ボルドーでは夏に15～20日程度、気温が摂氏30度を超える日がある。最高気温は2003年夏に観測され、摂氏41度に達した。その夏、気温が摂氏35度を超える日が過去最高の12日間続いた。ボルドーはしばしば年間2000時間を越えて2200時間にも達する沿岸部の長い日照時間の恩恵を享受している。

図1：フランス国ボルドー市



(2) 歴史³

ボルドーの町は紀元前300年にケルト系ガリア人によって創設され、「ブルティガラ」と呼ば